

令和3年12月23日

保護者様

喜多方市立姥堂小学校長 齋藤 学

第1回学校評価アンケート結果のまとめ

保護者の皆様には、日頃より学校教育にご理解とご協力をいただいておりますこと、厚く感謝申し上げます。

本年度第1回学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。

記

◎ 保護者の結果から

- 高い評価項目は、「教育活動・説明責任」全般、「栽培活動」「週末課題（作文）」「学校のきまりや約束の遵守」でした。コロナ禍のために授業参観や学級懇談会の機会が減ったり、実施できなかつたりしているため、学校の様子を積極的に発信する機会や方法を検討し、保護者の皆様と課題を共有し、学校経営・運営ビジョンの目標達成に向けて教育活動を推進していきます。
- やや低い評価項目として、「喜多方人づくり指針」の活用、「家庭での読書」「間食・スポーツ飲料ジュース類の摂取」「メディアコントロール」「あとしまつ」があげられ、今後の課題として家庭と連携し、継続して改善に取り組んでいかなければならないと思います。

◎ 児童の結果から

- 「得意な教科への意欲」の項目が最も高い評価で「いつも」と「ときどき」を合わせると約96%でした。また、「不得意な教科への取り組み」や「家庭学習」の項目も94%と高い評価でした。他にも「安全」や「教育活動・説明責任」全般の項目で、高い評価でした。
- 最も低い評価項目は「家庭での読書」でした。学校では朝の読書や読み聞かせ、本の紹介など様々な工夫をしながら読書への取り組みを行っています。「地域行事への参加」はコロナ禍のため、行事そのものが行われていないことが原因と考えられます。「地域学習」で低い評価をしたのは、ほぼ1年生であり、今後学習していくことで改善されると思われます。それ以外では「間食・スポーツ飲料ジュース類の摂取」についてが低く、今後、栄養教諭（外部講師）や養護教諭による「食に関する指導」に力を入れていきます。

◎ 教師の結果から

- 「栽培活動」「分かりやすい授業」「朝のマラソン」「教育活動・説明責任」全般での項目で、高い評価でした。特に、栽培活動については朝の時間に花壇の除草等をする時間を確保し、継続して実施していることが結果として表れています。
- やや低い評価項目として、「喜多方人づくり指針」の活用、「家庭での読書」「間食・スポーツ飲料ジュース類の摂取」「メディアコントロール」「あとしまつ」があげられます。メディアコントロールについては、特に高学年で評価が低くほけん便りや学級通信に掲載したり生徒指導から指導したりして注意喚起をしているところです。また、スポ少への参加による疲れや睡眠不足が見られるようになってきています。

ご多用の中、貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。学校評価の結果については、コミュニティ・スクールの会議でも話し合われました。今後も学校改善のために生かして参りたいと思います。なお、1月中旬に第2回目のアンケートを予定しておりますので、ご協力よろしくお願いたします。

(事務担当者： 教頭 金田 貴美 TEL 27-3357)